

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年2月21日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東京都国分寺市	代表者名	井澤 邦夫		
担当者部署	政策部	連絡先電話番号	042-325-0111		
担当者役職	担当係長	担当者氏名	千田 和宏	連絡先E-mail	
住所	185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義において、業務所管課向けという趣旨に合わせて、DXの敷居を下げるようにご説明をいただいたこと。</li><li>・当市のグループワーク（理想の姿・課題・対策案）発表に対して、他自治体の類似課題や、対策案における留意事項を具体的に講評いただいたこと。</li><li>・行政デジタル化に係る当市の既存コンテンツについて高い評価をいただいたことで、視聴できていない参加者もいる中で再周知の機会となったこと。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	要望はありません。この度はありがとうございました。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年2月14日	講演	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時30分	16時00分	5
				活動時間（分）	145

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	庁内の原課における若手職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政内部のDXへの取組を進めているが、職員のデジタル化への意識に格差がある。自分の業務において必要性があるのか等の基礎的な知識が根付いておらず、全国的な自治体DXに対する意識にばらつきがみられる。デジタル技術を取り入れることで業務効率化や住民サービス向上が図られることを認識し、それらの活用方法や取り入れ方について深掘りできる職員の育成が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進に対応しうる職員のデジタルマインドの醸成。職員が業務の見直しや改善を積極的に行うための意識の醸成として、DXを進める意識等の基礎知識や、自治体DXの重要性を学ぶ。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	■講義 [①DXの必要性及び重要性。2040問題及び社会におけるデジタルサービスの拡大に対応するため。②行政DXとは何か。職員含め市民が日常的に利用しているサービスを行政に取り入れること。③DXの実践例。GIGAスクールによるデジタルネイティブ世代が、10年後には新卒世代となる。] ■グループワークへの講評 [①業務をデジタルに置き換える重要性。デジタルシフトによりAI-OCR等現状の技術が今後不要となる可能性。②DXはデジタルを活用して今より幸福な社会に変えること]	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	以下のとおり、行政DXに対する積極性が以前より高まった。 ・職員が、DXは必ずしも難しい内容ではないと認識を改め、抵抗感が下がった。 ・いわゆる「デジタルアレルギー」の管理職等のボトルネックについて、特効薬がないことを知った。また、そういった課題について、もし解消が難しい場合にも「できない理由」とはせず、それが解消されたときに動き出すよう準備を進めておくべきことを知った	

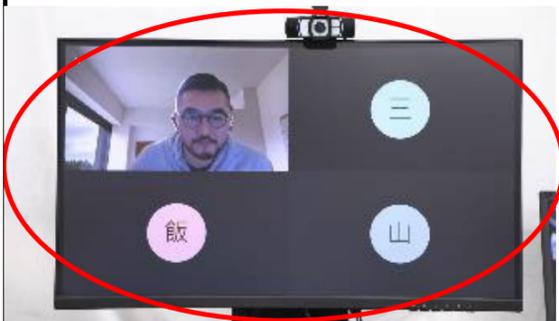
	<p>※月ごとの進捗状況に応じて山と谷のバランスを調整し、適切なスケジュールを設定する。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	受講直後に醸成された意識の継続・定着。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>当日、東京都がアンケート実施したため、結果を入手後、分析結果は後日提出予定。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	人材育成所管課と協議の上、職員研修体系も含めた整理を行うことで、計画的・全庁横断的な人材育成を目指す。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。  
 なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



モニターは

